

Yahoo! JAPANがパラリンピックメディア大賞を受賞 ～インターネットを通じたパラリンピック大会発展への貢献が認められ、日本のメディアとしては唯一の受賞～

2005年10月26日

ヤフー株式会社

Yahoo! JAPANがパラリンピックメディア大賞を受賞

～インターネットを通じたパラリンピック大会発展への貢献が認められ、
日本のメディアとしては唯一の受賞～

パラリンピックメディア大賞発表サイト（英語）：

http://www.paralympic.org/release/Main_Sections_Menu/News/Awards/

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）はこのたび、国際パラリンピック委員会（以下、IPC 本部：ドイツ・ボン 会長：フィリップ・クレイヴァン）が主催する「パラリンピックメディア大賞2005」のオンライン部門賞を受賞いたしました。

パラリンピックメディア大賞は今年初めて設立された賞で、パラリンピックを報道した世界のメディアのうち、放送、出版、オンライン、写真の各部門において、それぞれで最も優れた報道を行ったものに贈られます。

今回は、2004年開催のアテネパラリンピックを報道したメディアやジャーナリストなど合計22（うちオンライン部門ノミネートは4社）がノミネートされ、Yahoo! JAPANは日本メディアでは唯一の受賞となりました。

Yahoo! JAPANは日本パラリンピック委員会のオフィシャルパートナーとして、2004年8月に「アテネパラリンピック応援特設サイト」を公開し、競技結果や競技ガイド、日本代表選手全員のプロフィール紹介など、充実した大会情報をお届けしました。

また、パラリンピックの素晴らしさを伝え広めるキャンペーンやチャリティーオークションを開催するなど、インターネットを通じてさまざまな形で、障害者スポーツへの認知拡大を支援いたしました。今回の受賞は、こうした活動がIPCにより国際的に認められた結果といえます。

Yahoo! JAPANは今回の受賞を励みに、今後もパラリンピック大会のさらなる発展と障害者スポーツの振興に貢献できるよう、努力していきたいと考えます。

【パラリンピックメディア大賞2005 表彰式について】

開催日：2005年11月19日（土）

会場：中国北京市 IPC総会の公式ディナー会場にて

【パラリンピックメディア大賞2005 受賞メディア一覧】

放送部門：	BBC（イギリス）
出版部門：	Daily Telegraph（イギリス）
オンライン部門：	Yahoo! JAPAN（日本）
写真部門：	Lieven Coudenys（ベルギー）

【パラリンピック大会に関する今後の活動】

2006年2月に「トリノパラリンピック応援特設サイト」を公開予定

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約4045万人のユニークカスタマー数※と、1日11億9900万ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティー、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。Yahoo!のグローバルウェブネットワークは、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アジアなど世界25の国と地域で展開しています。

※2005年9月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率85.9%、職場からの視聴率86.9%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約4705万人（NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より）としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。